



きかせてママの声

Vol.34

菊川市に住むお母さんに
聞きました。

生まれ育った菊川市で子育てをしています。

菊川市はあたたかい人が多いと感じています。

お散歩中に出会った人が話しかけてくれたり、スーパーでレジに並んでいても声をかけてくれたり、店員さんも、レジの後カゴを持ってくれるなど、こどもとママに優しいまちだと感じています。

松原 香林さん



9月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

8月	
28日(水)	議案の提案説明
29日(木)	
9月	
4日(水)	一般質問
5日(木)	
9日(月)	質疑・討論・採決・委員会付託
27日(金)	委員長報告・質疑・討論・採決
30日(月)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局（35-0941）へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍 聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことにについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

編集後記

最盛期3,000枚ほどあった上倉沢の棚田、減反政策の影響により次々と耕作放棄田となった。先人が苦労して築き上げた棚田を荒れ果てた状態にしておくのは心が痛むと、山本哲さんが地元農協青年部に声掛けし、平成6年に千枚田を考える会を立ち上げ、年間15～16枚ほどの復田作業に取り掛かる。当初、人手不足と運営面で苦労したようですが、平成23年にNPOせんがまち棚田クラブを設立し、静岡大学棚田研究会学生の協力、オーナー制度の採用で、活動が軌道に乗ってきたとのこと。田植え、稲刈り作業のほかに堀延弘氏による伝統文化継承、生き物を大切に自然教室など年間を通じて様々なイベントで賑わっています。これからも無農薬栽培により自然環境を大切にせんがまちの棚田がいつまでも美しい光景でいてくれることを願っています。

(編集委員 赤堀 博)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています！



ダウンロードはこちら

マチイロ



次回の議会のひろばは

11月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに！



表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

せんがまち（千枚）

の棚田

撮影地：菊川市上倉沢



処分するときは雑がみとして
リサイクルを！

© 菊川市

